

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充

マスター
プラン

3つの挑戦

施策番号

1-7

局・課名

建設局・土木監理課

事業名	道路構造物アセットマネジメント事業	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
				80,241	201,700	218,960
<p>【目的】 市民生活に直結する道路照明灯や道路ネットワークとして重要なトンネルなどの道路施設は、供用から50年を経過するものあり、劣化や老朽化が進行し、ひび割れの進行や倒壊などの事故も生じている。このため、アセットマネジメントの考え方を取り入れた戦略的な維持管理を実施し、道路法に基づく定期点検、適切な補修や点検・診断等データの効率的な蓄積を行うことにより、将来に渡る維持管理費の平準化を図るとともに、老朽化による事故等を未然に防ぎ、安全・安心のまちづくりをめざす。</p> <p>【内容】 ・点検、診断、措置、記録のメンテナンスサイクルにより、道路施設の長寿命化と維持管理費の平準化を行う。 ・点検・調査対象施設と進捗率(R2実施数/全数：累計進捗率) 路面下空洞調査 (132/326km: 40%) 路面性状調査 (326/326km: 100%) ※5年に1度の定期点検 門型標識等点検 (41/71基 : 100%) ※5年に1度の定期点検 道路防災点検 (41/41箇所: 100%) ・補修対象施設 (R2実施数/全数：累計進捗率) 路面下空洞補修 (23/101箇所: 23%) 道路照明灯更新 (100/377基: 100%) 案内標識更新 (3/10基: 100%) ※ 調査・補修対象施設数は点検結果により増減する場合がある ・都市基盤施設維持管理システム (R2年度～) 道路基盤施設の点検・補修等の情報について、大阪府の都市基盤施設維持管理システムに参画することで一元的・効率的な管理を行う。</p> <p>【今年度要求のポイント】 ・堺市公共施設等総合管理計画に基づき、維持管理方針を定めた個別施設計画をH30.3に策定しており、国の交付金を活用し、計画的に門型標識等の点検、路面下空洞調査、路面性状調査をするとともに、30%の地方交付税措置のある公共施設等適正管理推進事業債の活用し、道路照明灯を更新するなど、財源を確保した効果的な維持管理を実施する。 ・なお、道路法施行規則の一部改正する省令に伴い、定期的な点検・診断の記録・保存が義務化されたことを受け、年々増加するデータを一元的かつ速やかに保存・管理し、ICTを用い効率的に活用するために大阪府の都市基盤施設維持管理システムに参画予定。</p>	期間	要求額(千円)				
	R ~ R					
	主な要求内容 (単位:千円)					
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	工事費	101,600	129,000	補修・更新工事		
	委託費	100,100	88,560	点検業務等		
	負担金	0	500	都市基盤施設維持管理システム負担金		
	使用料及び賃借料	0	600	タブレットリース費		
	通信運搬費	0	300	タブレット通信費等		
	合計	201,700	218,960			
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～元年度)】 ・国の要領に基づく、点検及び補修・更新工事を実施、各道路施設ごとに維持管理方針を定めた個別施設計画を策定		【2年度】 ・国の要領に基づく、点検及び補修・更新工事を実施 ・都市基盤施設維持管理システム活用開始		【今後予定(3年度～)】 ・国の要領に基づく、点検及び補修・更新工事を実施 ・都市基盤施設維持管理システム活用		
その他 特記事項						
関連事業:						